



# FDerによる授業公開と「教・職・学」ピアレビュー



県立広島大学  
Prefectural University of Hiroshima

県立広島大学 AP事業推進部会

発表者：三苫 好治 (生命環境学部 教授 / 庄原キャンパス FDer代表)

大学教育再生加速プログラム

## 1. 県立広島大学のAP事業

### ◆ 県立広島大学の教育的課題

- 「授業の満足度は高いが、授業外学修時間が伸びない」(※学内調査より)  
⇒ 学生の主体的学び(の姿勢)を引き出せていない。

### ◆ 平成26年度AP事業 テーマI (アクティブ・ラーニング) 採択

- 行動型学修・参加型学修を軸とする「県大型アクティブ・ラーニング(CLAL)」を推進
- ファカルティ・ディベロッパー(FDer)を養成 [対象:各学科・総合教育センター教員]  
AL手法の積極的導入, 組織的授業改善をリード。
- 学修支援アドバイザー(SA)を養成 [対象:学部生2年生以上, 大学院生]  
他学生の学びを支援する学生。学生同士の学び合いを促進。

⇒ 生涯学び続ける自律的な学修者(アクティブ・ラーナー:ALer)の育成へ

大学等名: 県立広島大学  
テーマ: テーマI (アクティブ・ラーニング)



## 2. ALの「導入」から「改善」へ

### ◆ 平成29年度AL実施率

調査回答科目中: **92.1%**  
(904科目中, 833科目でALを導入・実施)



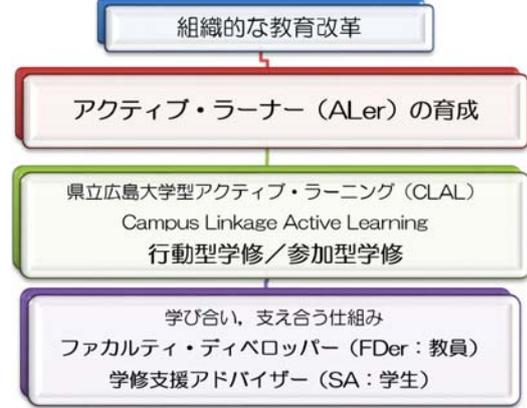
### ◆ ALの「導入」から「改善」へ

- AL導入・実践 フェーズ移行 点検・改善, 質的充実
- 「**支え合い, 学び合う**」持続的な教育改善の仕組み・文化づくり

### ◎ 全学的な授業ピアレビューの実施

- 教員(主にFDer)の授業公開・参観  
⇒ 相互参観により, 授業の質, 改善への意識を高め合う
- 事務職員の授業参観  
⇒ 第三者(非教員・学生)の視点/自大学の教育を知る
- 学生(SA)の授業参観  
⇒ 学生目線から授業改善への意見提供/  
他者の学びから, 自己の学びを見つめ直す

**教員・職員・学生が協働する  
授業ピアレビューの実現へ!!**



FDer自己評価ルーブリック

	A 実践力	B 応用力	C 基礎力
1. 組織的教育改善	カリキュラム・ポリシー(編成方針, 教育・評価方法)をアクティブ・ラーニング(AL)の観点から点検し, カリキュラム上の課題の指摘と, 改善のための提案ができる。 [自己評価(6.0点) □] [平均程度達成(5.0点) □]	大学入学以前に培った「学力の3要素」をさらに発展・向上させ, 学生を社会に送り出すために必要なことから実践できる。 [自己評価(4.0点) □] [平均程度達成(3.0点) □]	「学力の3要素」とは何か説明できる。 [自己評価(2.0点) □] [平均程度達成(1.0点) □]
2. AL実践と普及	ALの授業を公開するとともに, 他者の授業を参観し, 助言することができる。 [自己評価(6.0点) □] [平均程度達成(5.0点) □]	ALの手法を用いて授業を行い, その振り返りにより授業改善を図ることができる。 [自己評価(4.0点) □] [平均程度達成(3.0点) □]	ALとは何か説明できる。 [自己評価(2.0点) □] [平均程度達成(1.0点) □]
3. 学修成果の把握	アクティブ・ラーナーとしての到達度をはかるルーブリックを作成・活用し, 学生の伸びを可視化することができる。 [自己評価(6.0点) □] [平均程度達成(5.0点) □]	ルーブリックの活用方法を理解し, 作成することができる。 [自己評価(4.0点) □] [平均程度達成(3.0点) □]	ルーブリックとは何か説明できる。 [自己評価(2.0点) □] [平均程度達成(1.0点) □]
4. 学修支援アドバイザーとの協働	学修支援アドバイザーと協働し, アクティブ・ラーナーを育てる授業をすることができる。 [自己評価(6.0点) □] [平均程度達成(5.0点) □]	学修支援アドバイザーの役割を理解し, その活動の具体例を示すことができる。 [自己評価(4.0点) □] [平均程度達成(3.0点) □]	学生による学修支援の意義が説明できる。 [自己評価(2.0点) □] [平均程度達成(1.0点) □]

ALer自己評価ルーブリック

	A 実践力	B 応用力	C 基礎力
【知識・技能】	大学の学修方法を理解し, 実用性を高めるための活用をすることができる。 [自己評価(6.0点) □] [平均程度達成(5.0点) □]	授業外学修の進め方を理解し, 実践することができる。 [自己評価(4.0点) □] [平均程度達成(3.0点) □]	基本的な学修方法や, 情報収集の方法を知っている。 [自己評価(2.0点) □] [平均程度達成(1.0点) □]
【知識・技能】	得られた知識や技能を, 他人に教えたり, 問題解決に役立てたりすることができる。 [自己評価(6.0点) □] [平均程度達成(5.0点) □]	得られた知識や技能を応用し, より深く学ぶことができる。 [自己評価(4.0点) □] [平均程度達成(3.0点) □]	大学における幅広い学びを通じ, 基礎的な知識と技能を身につけている。 [自己評価(2.0点) □] [平均程度達成(1.0点) □]
【思考・判断・表現力】	自ら組み立てた明確な意見を持ち, それを相手に説明し伝えることができる。 [自己評価(6.0点) □] [平均程度達成(5.0点) □]	もろもろ多角的に捉え, 柔軟に思考し, よい解決案を模索することができる。 [自己評価(4.0点) □] [平均程度達成(3.0点) □]	自ら組み立てた意見をもとに, 異なる理解や解釈が存在することを理解し, ものこを多角的に考えられることができる。 [自己評価(2.0点) □] [平均程度達成(1.0点) □]
【意欲・表明】	熱心して得られた課題解決方法を, 的確な方法で行うことができる。 [自己評価(6.0点) □] [平均程度達成(5.0点) □]	課題解決に向けて, 課題の創造的・主体的に取り組むことができる。 [自己評価(4.0点) □] [平均程度達成(3.0点) □]	課題に意欲し, ときに, 解決への課題に取り組むことができる。 [自己評価(2.0点) □] [平均程度達成(1.0点) □]
【主体性・協働力】	社会的課題に関心を持ち, 主体的に学びたいと願うことができる。 [自己評価(6.0点) □] [平均程度達成(5.0点) □]	自習して学修する意欲を持ち, 日々の学修で実践できる。 [自己評価(4.0点) □] [平均程度達成(3.0点) □]	高い志をもって学ぶことができる。 [自己評価(2.0点) □] [平均程度達成(1.0点) □]
【自律・意欲】	相手の尊重し, 目標の達成に向けて協働することができる。 [自己評価(6.0点) □] [平均程度達成(5.0点) □]	相互関係を高めるために対応することができる。 [自己評価(4.0点) □] [平均程度達成(3.0点) □]	大学生活において, 同じ仲間や仲間を共有する相手を知ることができる。 [自己評価(2.0点) □] [平均程度達成(1.0点) □]
【主体性・協働力】	共通の目標に向けて協働することができる。 [自己評価(6.0点) □] [平均程度達成(5.0点) □]	相互関係を高めるために対応することができる。 [自己評価(4.0点) □] [平均程度達成(3.0点) □]	大学生活において, 同じ仲間や仲間を共有する相手を知ることができる。 [自己評価(2.0点) □] [平均程度達成(1.0点) □]

## 3. 「教・職・学」ピアレビューの実践

### ◆ ピアレビューの流れ

- ① 教員(主にFDer)の中から公開希望を募る。
- ② 教員(主にFDer), 事務職員, SAに対して参観希望を募る。(参観予定者は事前研修を受講)
- ③ 参観者は, 授業参観シート中の各観点に基づき, **授業を受講する学生の様子**を中心に観察。
- ④ 参観結果を授業者へフィードバックし, 授業改善について意見交換。

### ◆ 実施のポイントと実績

#### (1) 平成29年度前期

・試行として, FDerを中心に実施

	広島	庄原	三原
公開科目数	13	11	11
公開コマ数	19	27	14
公開者数	12	8	11
FDer	10	8	11
FDer以外	2	0	0
参観者数(述べ)	11	19	16
FDer	9	19	16
FDer以外	2	0	0

#### (2) 平成29年度後期

・非FDer教員の実施を促進  
・学生(SA)による参観を開始

	広島	庄原	三原
公開科目数	15	14	25
公開コマ数	46	47	65
公開者数	13	8	23
FDer	13	8	11
FDer以外	0	0	12
参観者数(述べ)	9	23	14
FDer	9	23	12
FDer以外	0	0	2
学生(SA)	2	5	1

#### (3) 平成30年度前期 (数値は暫定値)

・昨年度から参観シートを改良  
・事務職員による参観を開始

	広島	庄原	三原
公開科目数	21	19	16
公開コマ数	26	48	27
公開者数	18	11	12
FDer	17	10	12
FDer以外	1	1	0
参観者数(述べ)	51	33	4
FDer	20	16	2
FDer以外	6	1	2
学生(SA)	6	8	0
職員	19	8	0



授業参観シート

学部・学科	授業実施日時	授業者氏名
平成30年 月 日( ) <td>第( ) 講 <td></td> </td>	第( ) 講 <td></td>	
授業名		参観者氏名

観点	具体例	評価	気付き
授業	授業を受ける準備ができています。	3-2-1	
反応	授業における疑問や疑問に対し, 「確信がたつきました。」(授業課題への理解を示す)	3-2-1	
思考力	授業中の記録(ノートやメモ)が, 自分自身の考えをまとめている。	3-2-1	
参観	質問シートへの記載を通じて, 授業を振り返り, 授業者との対話を果たしています。	3-2-1	
協働	質問シートを通じて, 参観者同士の意見交換を行っています。	3-2-1	
参観者	参観中の参観者同士の意見交換を行っています。	3-2-1	

授業参観シート(様式)

※三原キャンパスは, 豪雨被害の影響により, 規模を大幅に縮小してピアレビューを実施

## 4. 成果と課題

【成果】

- 授業改善意識の向上
- 教員・職員・学生の相互対話を通じて授業改善を図る。  
全学的な「支え合い・学び合い」の意識醸成

【課題】

- 他者の授業を見る目, コメント力の向上 ⇒ 効果的な研修等の実施
- 公開者の増加 ⇒ 非FDer教員の参加を促す制度の検討・運用
- 参観者の増加 ⇒ 職員, 学生が教育改善へ参画する文化の醸成